

# ライフサイクルに応じた発達障害の理解と支援

## 子どもたちへの関わり、親御さんへの関わり

\*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期型研修会(ワークショップ)」の承認を受けております。<承認期間:2022年7月2日~2027年7月1日 承認番号:20210392>

期 日:2024年6月1日(土)

受講対象:教育・医療・相談・福祉・保育の各機関・現場で、子どもに関わる専門家および興味のある方々

定 員:80名(定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください。先着順となります。)

受講料:8,500円(税込み)

主 催:公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

会 場:明治安田こころの健康財団 講義室 ※詳細地図は受講証に添付いたします

東京都豊島区高田3-19-10

JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分

★★★★★ 企画講師 ★★★★★

医療法人仁誠会 大湫病院 児童精神科医 関 正樹 先生

自閉スペクトラム症や注意欠如・多動症を早期に把握し、支援をすることの重要性が指摘され、全国各地でさまざまな支援がなされています。

実際の発達障害の支援においては、薬物治療が有効な場面は少なく、支援者は目の前の子どもがどのようなことに困難を抱え、その背景にどんなことが考えられるかを検討しながら、本人にわかりやすい環境を整えるとともに、周囲から本人への関わりをポジティブなものにしていく必要があります。一方でそのような支援は家庭だけに委ねるのではなく、親御さんを孤立させないような支援も必要になってくるでしょう。思春期・青年期に至れば、友人関係を維持することの難しさや学校という居場所を維持することの難しさ、ゲームやネットとの付き合い方や就労に悩むことも多くなります。また、知的発達症の併存があるケースでは行動障害に悩むことも少なくありません。

本講座ではそのようなライフサイクルに応じた支援のあり方や発達障害と不登校やゲーム・ネットとの関係、行動障害の理解と支援についてご紹介できればと思います。

【企画講師:関 正樹】

### 【プログラム】

※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください。

時 間	テ ー マ
10:30~12:10	ライフサイクルに応じた発達障害の理解と支援
12:10~13:10	昼 食 (各自おとりください)
13:10~14:50	親御さんを孤立させないために:親御さんとの関わり
15:05~16:45	発達障害の子どもたちとのネットやゲームの世界、不登校とその周辺